

平成30年4月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年4月25日(水) 午後3時		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	社会教育課長	工藤	浩範
	是川縄文館副館長	田茂	隆一
	総合教育センター所長	本間	孝浩
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	是川縄文館参事	小保内	裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成30年4月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、大庭委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第18号「八戸市社会教育委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第18号 八戸市社会教育委員の委嘱について

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第18号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第18号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第19号「八戸市文化財審議委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第19号 八戸市文化財審議委員の委嘱について

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第 19 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 19 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 20 号「八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 20 号 八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(中村 学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

それでは、議案第 20 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 20 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「平成 29 年度第 4 四半期の業務報告について」は、事前に委員の皆さんから質問をいただいております。

【平成 29 年度第 4 四半期の業務報告について (質疑応答)】

(伊藤教育長)

まずは、2 ページの「トイレ改修工事」について、武輪委員からお願いします。

(武輪委員)

2 ページのトイレ改修について質問させていただきます。

学校訪問や周年行事等において、各学校にお邪魔した際にトイレを拝見したり使用させていただくのですが、すごくトイレがきれいになって、私たちもちろんですが、子どもたち、地域の皆さんが学校に来た時に気持ち良く使っているのではないかなと思っております。こちらには江陽小学校と市川中学校が記

載されておりますが、これまでのトイレ改修状況についての進捗状況をお聞かせいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(橋本 次長兼教育総務課長)

トイレ改修の進捗状況でございますけれども、この事業は平成 15 年度から行っておりまして、平成 30 年 4 月 1 日現在での改修済みの学校は、小学校 43 校中 24 校が改修済み、残りは 19 校で進捗率は 55.8%、中学校は 24 校中 14 校は改修済み、残りは 10 校で進捗率は 54.2%となっております。

改修していない学校は、小中合わせて 29 校あります。基本的には年 3 校ずつ。国の補助を得ながら改修したいと思っております。単純計算すると 29 校で 3 校ずつだと 10 年かかりますけれども、今の計画では 38 年までに 9 年間で終わらせる計画でおります。

(武輪委員)

まだまだ完全に終わるまでは時間がありますが、もちろん順番というのはあると思いますけれども早く改修工事ができたところは気持ちよくトイレを使えるので、その順番もまた、それぞれの学校によって考慮されながら決められていると思いますけれども、早く全部の改修が終わるといいなと思います。

(伊藤教育長)

ただいまのトイレ改修工事について関連質問等はございませんか。

[なし]

それでは次に入ります。

8 ページの「八戸市いじめ問題対策連絡協議会」について大庭委員からお願いいたします。

(大庭委員)

8 ページの 21 番ですけれども、いじめ問題対策連絡協議会が 3 月に開催されております。「本市におけるいじめ防止推進の取り組み等について」ということで、今回の会議において取り上げられた課題としてはどのようなものがあつたのか、そして、その課題への対策等に関しても話し合われたのか。特に気になっているところは、表面になかなか出てこない、SNS やメール等を媒介としたいじめにかかわる事象が見えないところで進行しているのかどうか、というところをお聞かせいただければと思います。

これまでもパンフレット等を作成して保護者と連携しながら、インターネット関係機器の使用については啓蒙を図ってきているわけですが、見えないところで進行しているということが懸念される場所ですので、お話いただければと思います。

(西山 教育指導課長)

3 月 12 日に開催いたしました八戸市いじめ問題対策連絡協議会では、当市におけるいじめ問題への取り組みについて大きく 2 点について話し合われました。

1 点目は各学校におけるいじめの未然防止等の取り組みについてです。学校においては道徳教育をはじめとして教育活動全体を通していじめの未然防止の取り組みを推進しており、自分の命も相手の命も大切にしたい気持ちや、相手の立場に立って考える気持ちなどの育成を図っております。また、定期的にアンケ

ートを実施し、それに基づいて教育相談を行うなど、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めているところでもあります。

児童生徒が主体となったの取り組みとしては、いじめをしないことの決意を一人ひとりがカードに記入して校内に掲示したり、いじめ防止週間を設定して、いじめをしないことを誓うことができる生徒にリボンを配布し着用する活動をして、いじめ防止、未然防止の活動を行っているところでもあります。

さらには例年長期休業中に小学校においてはいじめ問題に関する対話集会、中学校においては生徒会交歓会を開催し、いじめ問題について各学校の代表生徒が集まって協議をしております。協議した内容は代表の児童生徒が各校に持ち帰り、全校生徒に伝達しているところでもあります。また、平成8年度のいじめ問題に関する対話集会において制定した「いじめ根絶宣言」を各学校でも児童生徒が唱和することについて、出席者に取り組みの紹介や説明をいたしました。

2点目は関係機関におけるいじめ防止等の取り組みについてです。市連合PTAにおいてはPTA 会長会議の中で、インターネットを通じたいじめについて講師を招いての研修会を開催したり、小中学校長会や市教育委員会と連名でインターネットトラブル防止のための3つの提言リーフレットを作成し市内小中学校の児童生徒の保護者へ配布したりするなどして、保護者に対していじめの未然防止のための啓発活動を行っております。

法務局においては電話等による相談のほか、SOS ミニレターを全小中学校の児童生徒に配布し、いじめをはじめ様々な悩みを児童生徒が手紙を通じて相談できる体制を整えております。また、児童相談所においては年間数件のいじめ相談を受けており、いじめの背景には非行の問題や家庭の抱える問題等様々な要因が考えられることから、児童相談所としても学校と役割分担等を決めながら連携して対応していくことについて情報提供がありました。

これらの取り組みとして全体を通して出席者からは、いじめの未然防止に関しては学校での取り組みを推進しているところではあります。子どもの教育については第一義的に保護者に責任があり、家庭の中でいじめを行わない子どもに育てることが大切であること、先生方がしっかりと子どもと向き合う時間を確保するために業務の負担軽減を図ることなどの重要性等について意見が出されました。これらの情報を元にして学校現場では、より子どもたちに親身に接し、早い段階で情報を入手できるよう努めているところでございます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか、なにかございますか。

(柳谷 教育指導課副参事)

インターネットを通じたいじめということの質問でございましたが、実際にいじめとまではいかなくても、八戸市内でも小中学生のインターネットのトラブルということで書き込み等による報告がされております。県教委、もしくは県警、八戸市教委でもネットパトロールを実施しておりまして、その情報に基づきまして、関係校に連絡をして対処しているところです。なにか事例があった際には、関係児童生徒だけでなく保護者にも連絡をして、書き込みの状況、インターネットの利用状況を家庭でしっかりと把握するようという指導もしております。また、全体を通して、先ほどもお話がありましたが、インターネットトラブル防止のための3つの提言のリーフレットをもとに保護者に啓発活動を行っております。また、生

徒につきましても生徒会が中心となって決めた思いやり提言「決められた時間を守ります」「相手も自分も大切にします」「傷つけない言葉を使います」といった提言を基に、学校のルール作りをすすめて子どもたちの意識啓発を図っているところであります。

(大庭委員)

丁寧な説明をありがとうございました。気になっていすのは、例えば高校になるとインターネットトラブルに関して一層増えてくると思われす。高校によっては生徒指導担当の先生が専門にインターネットをチェックするなどしてあります。小中学校の場合はなかなか教員に余裕がないので専門の先生がチェックするところまでは厳しいとは思いますがけれども、未然に防止できる対策を継続して取っていただければと思ひます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか関連質問ござひませんか。

[なし]

それでは次に17ページの「ブックスタート事業」について、武輪委員さんからお願いいたします。

(武輪委員)

今回17ページの表を拝見した時に配布数が100を切っている印象を受けました。今まで、業務報告という形で3カ月毎に数値をいただくわけですが、29年度の10月、11月、12月も若干少なめではあっても105、122、131とのことで、その前の3カ月も108～133。もしかすると1月、2月、3月の寒い時期だったので、来る方も少なかったのかなと思ひ、28年度の1月、2月、3月、27年度の1月、2月、3月も確認したのですが、100を切っているというところがありなかつたので、子どもの生まれる出生数が少ないために配布数が少ないのか、なにか他に理由があつて、数が減ってきているのかと感じましたので、ブックスタートが始まってから4年経過した中で、配布数の変化であつたり、今のブックスタートの事業についての近況を教えていただきたいと思ひまして質問させていただきます。よろしくお願ひいたします。

(千葉 図書館長)

資料を準備いたしましたので資料を基に説明をさせていただきます。ブックスタート事業の状況等についてという資料でございます。まず(1)の実施状況ですけれども、こちらは26年7月のスタートからの状況でございます。29年度の部分を見ていただきますと、配布対象者、配布者、配布率が落ちています。配布者のところは配布数と読み替えていただければと思ひます。

29年度減少の要因ですけれども、武輪委員もおっしゃっていた通り出生数の減少によるものでございます。29年の出生数1597人に対し28年以前は1700人台となっています。また、28年度配布対象者、1846人、29年度1688人で、158人の減、配布者は28年度1748人、29年度1523人で、225人の減と、配布者の減少幅が大きくなっています。要因ですけれども、図書館が向かっている総合健診センターではほぼ100%配布ができていますが、総合健診センターでの股関節脱臼検診受診者が減少し、他の医療機関で受診する人が増えたことによります。他の医療機関で受診した人は健康づくり推進課へ絵本を取りに行くということになっており、そのために配布が減少し配布率が低下したものでございます。

対策といたしまして、これまでは出生届のときに全員へブックスタート案内パンフレットを配布、またホームページへの掲載等により周知をしまいいりましたけれども、今後は加えて総合健診センター以外の医療機関での受診者に対し、ホームページに受け取りを促す内容の掲載、股関節脱臼検診の受診が多い医療機関へのポスター掲示等により十分なPRをしまいたいと思っております。

続いて(2)事業の近況ということで4点ほどご報告をさせていただきます。

1点目、事業開始から4年となりました。2人目のお子さんも対象となる方が多くなりまして配布絵本の「いないいないばあ」を持っている方が増え、予備で準備している「いないいないばあ」とは違う絵本、そちらの配布が増えています。今年度は予備絵本を今6冊あるものから7冊にして1冊を増冊する予定で7月から実施しようと思っております。

2点目ですけれども、これまで総合健診センターで検診終了後、声をかけても受け取らずに帰ってしまう方が27年度5名、28年度は3名ございました。29年度は趣旨を十分に伝え、受診者全員に配布することができたものでございます。

3点目は、ボランティアの方が活動を楽しみにしており、読み聞かせの大切さを伝えることにやりがいをもって臨んでいるということです。

4点目ですけれども、0歳から6歳までの図書館貸出利用者が増加しているもので、ブックスタートの効果が表れているのではと思っております。以上です。

(武輪委員)

図書館でも様々な見方をされていて、ブックスタートにより0歳から6歳までの図書館貸出利用者が増加しているということもこの事業の成果だなというふうに感じております。

対策もされているようですが総合健診センター以外の医療機関での受診者に対しての部分で、医療機関とも連携を図って、そちらで受診された方に医療機関から「こういう事業をしているので、ぜひ、本を手にとってみてください、受け取りに行ってください」と一声かけていただくのもお願いしてみてもいいかなと思いますので、これからもよろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。関連質問はございませんか。

[なし]

それでは、そのほか、委員の皆さんから何かございませんか。

(油川委員)

私は感想を述べさせていただきたいと思います。5ページの「幼保小連携推進事業について」です。

記載されています報告書、私も拝読いたしましたけれども、さらに充実した内容で幼保小の連携が行われているということを実感いたしました。小学校側におきましては特に「オープンスクール」という新しい取り組みに対しても積極的に実施していただきまして、その成果も得られているようで大変ありがたいと思います。どうもありがとうございます。

あと、スタートカリキュラムについてですが、スタートカリキュラムの作成や活用についても29年度は大きく前進したということがうかがえて、このことに関してもさらなる活用を期待しているところです。

1 つ提案ですけれども、小学校の報告書の中に、連携事業の様子がわかる写真を掲載している学校と掲載していない学校がありましたので、もし可能であれば2, 3枚掲載していただくと、より連携事業の様子がわかるのかなと思いました。

幼稚園、保育園、認定こども園におきましては、以前もお話を申し上げますけれども、この事業に関してのアンケートの回収率が幼稚園100.0%、保育園44.0%、認定こども園59.3%という数字から、保育園や認定こども園の回収率を高めることによって、多くの課題解決につなげられるのではないかなとも思いました。

幼保小連携推進事業がスタートして今年度で15年目を迎えることとなるかと思えます。人に例えますと、立志式を行う年齢であるかと思えます。このことに対しまして、教育委員会の皆様のご努力に感謝を申し上げます。幼児教育におきましては、前年度は幼稚園教育要領と保育所保育指針と幼保連携型認定こども園、教育保育要領が告示改正されて、今年度より本格的実施されていますけれども、その改訂のポイントが3つありまして、1つ目は「環境を通じた教育」、2つ目が「乳幼児からの発達と学びの連続性」、そして3つ目が「小学校との接続のありかた」です。この小学校との接続のありかた、まさに幼保小連携推進事業の内容と合致しています。そしてまた、八戸市教育振興基本計画におきましても就学前、教育の充実を目標に掲げて、そして幼保小連携推進事業を重点取り組みの一つとしてくださっていますことに大いに期待し、そして感謝を申し上げます。どうぞ、今年度もよろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

はい、ありがとうございました。委員さんから感想とご提案がありましたので担当課は対応等をよろしく願いいたします。

そのほか委員の皆さんから何かございませんか。

[なし]

(伊藤教育長)

それでは次に入ります。「平成30年度第1四半期の主な事業予定について」委員の皆様から何かございませんか。

【平成30年度第1四半期の主な事業予定について（質疑応答）】

(籙瀬委員)

感想です。1ページの学校施設グループの旧柏崎小学校解体事業ということで、6月から3月までの予定で解体作業が行われるということで、掲載されてあります。4点ほど感想をお話させていただきたいと思えます。

1点目、新しい柏崎小学校の建設が始まった時点から8年経っています。旧校舎から青葉2丁目に移転してから7年弱の年月があつという間に経っています。その間、地域の強い要望であった早期解体ということが実現したということに、率直に地域住民は大きな喜びに包まれています。また、連合町内会をはじめとする地域関係団体でも8年前の建設から今の解体という大きな課題が達成できたということに心から感謝しているということをこの場でお伝えしたいと思っています。

2 点目、旧校舎解体というのは喜びと同時に寂しさもあるということです。当然のことですが、学校の建物が無くなるので、特に卒業生などは寂しい。テーマにもあるんですが、「心のふるさと柏崎」というのを掲げているのですが、その象徴である旧校舎との大きな惜別の念というのがありまして、これについては教育総務課をはじめとする事務局で様々な点について配慮していると聞いておりますので、その点についても感謝したいなと思っております。

3 点目は、旧校舎解体の工事が始まるということは土地活用の計画が始まるということでもありますので、大きな願い、課題に取り組めるということも長年の地域の要望であった憩いと安らぎの場である公園緑地、あとは現在、東部終末処理場を借用して、山車を制作している4つの山車組があります。山車制作所の建設ということが具体化するということで、あと2年というこの山車組の借用期間を踏まえた上でとても大きな転換点だなという思いがして、これまでのご苦勞に感謝申し上げたいと思います。

4 点目は、旧校舎解体後は今お話したように、計画では2年ほどかけて公園と山車小屋の設計と建設に取り組むと聞いていますけれども、今後もこれまでと同様に丁寧に住民と関係団体、八戸市民の願いを十分に聞いていただければありがたいなと思っております。旧校舎の解体後は教育委員会から離れて市長部局の管轄になるわけですがけれども、中心街と連動した回遊コースの設定や、三社大祭に関わる施設、イベントなど、活力あるまちづくりという面でも進められることを期待しています。

最後になりますけれども、これまでの10年近くにわたるご苦勞とそれから今後解体工事において予想されるアスベスト等の撤去という難しい問題、近隣住民の理解や様々な難しい課題があると思うのですが、事故なくスムーズに工事が進むことをお祈りしています。

関連して、これも感想ですが、15ページこども支援センターのところに、特別支援教育看護支援員事業という新しい事業のことが書かれてあります。ご承知のように新しい柏崎小学校を建設する際にはバリアフリーの構造、エレベータの設置、車椅子用のスロープの設置、特別支援教室の構造の工夫など、将来的に身体に障がいを持つ子どもを受け入れることを想定して設計した学校であります。結果として、学校(新しい校舎)ができる前も、今から7年前の平成23年の4月に旧校舎である時点で、8月に移るということが決定しましたので、八戸で初めての肢体不自由特別支援学級が柏崎小学校に開設され、新しい校舎に移りました。そして今回また、初めてのそういう子どもたちに対する、手立てとして看護支援員が配置できることになって、これも、長年保護者が訴えてきた、保護者の負担軽減、それから子どもへの手厚い支援ができるということでもとても喜ばしく思っています。また、学校現場にとりましては先生方にとっても、専門的な知識とか技術を持った看護支援員が配置されることによって精神的な負担とか不安といったものが軽減されるのではないかとあって、これもまたとても良かったなと思っております。このように八戸市においては市当局の理解もあって、特別支援教育に関しては手厚い施策が打ち出されていますので、15ページにも全部書いてありますが、この後2年経つと新しいこども支援センターが保健センター内に設置されるということになっていきますので、そういう期待もありますので、今後とも頑張りたいなという感想を述べて終わりたいと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。

その他に、委員の皆さん何かございませんか

(大庭委員)

2点述べさせていただきます。

1点目は6ページの15番に「教育施策市民啓発事業」というところで、平成31年1月19日に「はっち」で「教育の広場はちのへ」を行うと表記されておりますが、今年度も実施する方向で考えているということですね。生徒にとって非常に貴重な場であると思っているので、実施されるのであれば大変嬉しく思います。

関連して、「世界一大きな絵プロジェクト」と兼ねて行うとあります。「世界一大きな絵」は非常に良かったと思うのですが、前回のものを再度掲げるということでしょうか。

(西山 教育指導課長)

昨年度の「世界一大きな絵」は市内全小中学校の児童生徒、教職員によって作成されたものでありましたが、今年度予定しているものは、特定の小学校を選定いたしまして、昨年度より若干小さめになります。継続して続けてまいりたいと考えているものでございます。

(大庭委員)

前回作成したものを再掲するというのではなく、また新たに作成していくということですね。

もう1点は15ページ、特別支援教育看護支援員事業で、2名配置ということでとても良い事業だと思います。おそらく、対応をどうしたらいいのか迷っている、悩んでいる保護者の方もいると思います。この事業で保護者の手助けになっていくと思われまますので、いろいろ取り組むべき課題は出てくると思えますけれども、意義あることだなと考えております。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、なにかございませんか。

[なし]

次に、「平成30年度八戸市民大学講座（前期）について」事務局からの説明をお願いします。

【平成30年度八戸市民大学講座（前期）について】

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」の概要について」事務局からの説明をお願いします。

【「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」の概要について】

(田茂 是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「こどもの読書週間行事」開催について」事務局からの説明をお願いします。

【「こどもの読書週間行事」開催について】

(千葉 図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「平成30年度八戸市史講座の開催について」事務局からの説明をお願いします。

【平成30年度八戸市史講座の開催について】

(千葉 図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(油川委員)

数日前に、新聞に掲載のあったものですので、ご覧になった方も多いかと思いますけれども、青森県内の交通事故、小学生の交通事故についての記事です。青森県警が2013年1月から5年間に県内で発生した小学生の交通事故のうち、1年生の事故が6年生の3倍以上だった、という、そして、月別には6月がもっとも多いということで、その理由としては、4月5月は登下校に付き添う保護者も多いが、学校に慣れってくる6月からは一人で登校する家庭も増えるからではないかという記載がありました。もうすでに周知なさっているかと思いますが、安全確保の周知、どうぞよろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

私も拝見いたしました。なにか理由がきつとあるんだろうな、と。今、委員さんが言ったように、あるいは報道で分析したような、理由があつて増加しているんだろうと思います。八戸で交通事故に関しての統計はありますか。

(柳谷 教育指導課副参事)

八戸市内の事故の状況を見ますと、特に低学年の事故が多いというわけではありません。月別に見ましても、特に年度初めが多いということではなく、これもまた、ばらつきがあるというところではあります。市教委では、ゴールデンウィークを前にして交通事故をはじめ、子どもの安全管理ということで各学校に通知を出しているところです。また、各学校におきましても、子どもの様々な事故がないように注意喚起していただいているところでございます。

(伊藤教育長)

ゴールデンウィークが近くなってきましたので、報道にあるようなことが八戸で起こらないように、これまで以上に安全について学校と連携を取りながら徹底していただきたいと思います。

そのほか、なにかございませんか。

[なし]

閉 会

(伊藤教育長)

それではこれもちまして平成30年4月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後4時13分閉会)